

## 令和3年度町政等に関するアンケートによる意見、提案、課題等

### 1 耳鼻科、皮膚科など医療機関の充実。街灯の整備。駅があると良い。

回答：企画財政課

耳鼻科、皮膚科など医療機関の充実、街灯の整備につきましては、人口が増加し、町が賑わうことに伴い整備されるものと考えます。現在、町では、第5次総合振興計画で2つの重点戦略として、人口増を目指す戦略、定住化を進める戦略を掲げ、事業を実施しているところです。

また、令和2年度を始期とする第2期の松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、基本理念に「まちの魅力発信と町民満足度の向上」を掲げて人口減少対策に取り組んでおり、引き続き、これらの事業を推進してまいります。

駅につきましては、これまで東京へ直結する鉄道への整備・誘致を実現するため、「地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」及び「東京直結鉄道建設・誘致促進連絡協議会」において、国土交通省をはじめ、埼玉県、千葉県、茨城県に対する要望活動等を実施し、早期実現に努めているところです。

引き続き、今後も粘り強く構成市町等と連携を図りながら早期実現に向けた取り組みを行ってまいります。

### 2 自治会離れの人が多く、自治会のあり方について考えることが多々あります。挨拶はするけど淋しい気持ちです。

回答：総務課

近年、全国的な傾向として、少子・高齢化、さらには単身世帯の増加など、社会構造の変化、ライフスタイルの多様化、そして地域に対する関心の希薄化などにより、自治会を取り巻く環境は大きく変化していると認識しています。

当町においても、多くの課題が顕在化するなど、自治会運営における課題は少なくありません。

町では、自治会運営にかかる費用や自治会が主催するイベントなどの経費を負担軽減するため、自治会振興補助金制度を設けています。また、自治会館の維持管理に要する費用を補助する自治会館等維持管理費補助金も交付しています。さらに、持続可能な自治会運営を支援するため、自治会運営についての課題や悩みについての相談なども行っています。

自治会は、地域的なつながりを持ち、お互いに助け合える近所の組織として、地域の生活環境の向上などを目的に、自主的に結成、運営される任意の地域コミュニティと考えています。

今後も、地域コミュニティの醸成や自治会の加入促進に向けた取組みに努めてまいりたいと考えています。

### 3 河川にゴミが多く捨てられている為、改善願いたい。

回答：環境経済課

当町は、大きな河川に囲まれた町であり、良好な水辺空間は町の資源でもあります。

河川のごみには、上流から流れ着いた空き缶やペットボトルなどのごみと、河川に不法投棄された粗大ごみなどがあると思います。

いずれも、住民の皆様の協力による各地区のクリーン作戦や町のパトロールなどにより水辺環境の美化を維持しております。

ごみが捨てられている場所がございましたら、町へご連絡をお願いいたします。町と各地域や河川利用者の皆様と協力して、美しい水辺環境の保全を図ってまいります。

4 私の自宅前に用水を埋めたてした町管理している通称公園と言われている場所の件、その場所に大きな木が数本ありますが、剪定してほしいとの要望が出ています。また、落ち葉が敷地内に飛ばされてくるとのことです。以前に役場の方にお問い合わせしましたが、検討しますとの事でした。※草刈り作業には感謝しております。

回答：新市街地整備課

現地を確認し、必要があれば対応をしますので、町にご連絡ください。

5 もう少し芸術や観光ができやすいといいと思う。

回答：教育文化振興課・環境経済課

(教育文化振興課)

松伏町の文化・芸術の推進につきましては、当町が誇る音楽ホール「田園ホール・エローラ」を拠点とした音楽によるまちづくりを推進しております。

令和3年度は、田園ホール・エローラが新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用されたことや再度緊急事態措置が発令されたことから、当初予定していたコンサート等については全て中止となりました。

代替事業として、多世代交流学習館の多世代交流ホールを会場としたミニコンサート「ウィズ・コロナ・コンサート」を計5回実施しました。聴きにいられた方々から、多くの好評をいただきました。

また、町民への音楽鑑賞機会の提供、発表機会を失った音楽家への発表機会の提供のため、令和2年度から実施している音楽動画の配信事業は、令和3年度も継続して実施いたしました。

(環境経済課)

町の観光は、大落古利根川沿いの桜並木や県営まつぶし緑の丘公園をはじめ、イチゴの観光農園、江戸川の自転車道やエローラ等の様々な観光資源があり、町内外から観光に訪れていただいております。

また、令和元年度から「松伏ふるさとカレー」スタンプラリーを開催し、町内外から参加いただいております。

今後も、町内外から町に観光で訪れていただけるように努めてまいります。

6 道の駅構想について情報を流してもらいたい。

回答：新市街地整備課

道の駅の整備につきましては、基本構想、基本計画、整備計画が策定されており、現在は整備手法や管理方法等を調査・研究しているところです。基本構想、基本計画、整備計画は、ホームページ上で公開をしていますので、そちらをご確認ください。

7 人と人とのつながりの大切さをうたい、広報でも自治会入会をすすめていることはありがたいが、もっと自治会等への具体的な支援策をうち出していきたい。このままでは、そう遠くない未来に自治会はなくなるだろう。子供会のように。

回答：総務課

現在、各自治会に対して、地域振興を図ることを目的とした自治会等振興補助金や、自治会館の維持管理に要する費用を補助する自治会館等維持管理費補助金を交付しています。

この自治会等振興補助金については、従来の運営費の補助金に加え、住民間交流によるコミュニティ活動の醸成を目的とした自治会活動魅力アップ事業を創設し、自治会等におけるレクリエーション事業や文化事業に対し補助金を交付しています。

さらなる自治会加入に対する具体的な支援策について、自治会連合会長会議での意見交換や近隣自治体の動向等も鑑みながら調査・研究してまいります。

8 限られた予算の中、大変かと思いますが、農業者としてはもう少し地域農業振興の為、農産物特産品の推進に力を入れて頂きたいをお願いします。※特産品により町のPRにも繋がるかと思えます。

回答：環境経済課

町では令和3年度に埼玉県と連携し、「晩成型トウモロコシ」の試験栽培を実施しました。

この実証実験をもとに、町内農業団体を通じ、トウモロコシ栽培の普及に努めております。

今後もトウモロコシ栽培を推進するとともに、町では「カレーのまちづくり」を推進していることから、こうした事業を通じ、ニーズのある農産物の生産推進をすることで、町の特産品に繋げていきたいと考えております。

9 自治会に消毒用の「マラソン」という商品名の薬剤防虫剤を購入してほしい。管理道路の下の水道管のチェックをもう一度したい。

回答：総務課、まちづくり整備課

現在、町では、各自治会に対して薬剤防虫剤については支給しておりませんので、各自治会において購入の検討をお願いいたします。

水道管につきましては越谷・松伏水道企業団に、下水道管につきましてはまちづくり整備課の下水道担当に、それぞれ御相談ください。

10 エローラの公園をもっときれいに。教育低下、中学の見直し。

回答：新市街地整備課、教育総務課

(新市街地整備課)

松伏記念公園の清掃は、シルバー人材センターに委託し、実施しています。ゴミの清掃はゴミ箱を中心に週2日、トイレの清掃は週3回、それ以外に毎朝巡回時に、ゴミ拾いを実施しています。大量のゴミが放置されていることなどがあれば、その都度対応しますので、ご連絡ください。

(教育総務課)

町では、学力向上に向け、「個々に応じた学び」及び「協働的な学び」を展開するための授業改善を図っております。そのために令和3年度からタブレット端末を有効活用した学習も進めております。令和4年度からは、町内小中学校において、ドリル学習をタブレットで実施し、子供たちが個々の力に合った問題に取り組み、個々の伸びを実感できる工夫も始めました。今後も松伏町の子供たちの学習意欲の向上を図り「できた、わかった、楽しい!」と感じられる授業が実施できるよう努めて参ります。

また、小学校教育6年間と中学校教育3年間の円滑な接続に向け、互いの授業を見合う場を設定したり、職員が意見交流できる場を充実させたりするなど、小中の連携を密にし、今後さらに義務教育9年間を通して発達段階に応じた系統かつ計画的な教育活動を進めていくことで、心豊かにたくましく生きる松伏の子の育成に努めてまいります。

11 各自治会よりの要望等に答えられるような予算配分は、どのようにしたら可能なのか回答ください。また、各要望の優先順位等を明確にし、実現時期を提示して欲しい。

回答：総務課

ご要望の内容については、職員が現場を確認したうえで緊急性や必要性を考慮し優先順位をつけたなかで対応しております。

しかしながら、工事等の実施時期を明確に提示できていない現状もございます。

町民の皆さまの安全、安心な事業を最優先するなかで、できる限り各自治会からの要望に対応できる予算配分を検討してまいります。

12 町外に勤めている人は、帰りのバスがなく不便な為、松伏町から離れる人が増える。

回答：企画財政課

現在、茨城急行自動車(株)及び(株)ジャパントローズの各バス事業者のご協力をいただき、せんげん台駅、北越谷駅、南越谷駅、越谷レイクタウン駅、吉川駅及び野田市駅へと、松伏町から近隣の駅へのアクセスが向上しているところです。

バスの増便につきましては、バス事業者の経営上の判断も必要となることから、引き続き様々な機会を捉えて、各バス事業者へ要請してまいりたいと考えます。

1 3 ゆめみ野地区の道路状態が悪く、ベビーカーや車いすが通りにくい。ブロックをやめて欲しい。エローラ通りのコンテナ車が通ると地震の様ででこぼこを何とかして欲しい。夜に松高の歩道がこわい。椿の木が大きくて、不審者がいそうで何とかしてほしい。

回答：まちづくり整備課

ゆめみ野地区内のインターロッキングブロックは、街なみに変化や特徴を与えるとともに車両のスピード抑制といった効果もあります。経年変化による劣化があることは把握しておりますが、現在のところブロックの撤去等の予定はございません。

道路の維持管理は、職員や業者委託による簡易な修繕を随時行っているほか、舗装の劣化状況により、路線ごとの改修を計画的に行っております。今後も予算を最大限に活用した維持管理に努めてまいりますので、御理解いただきたいと存じます。

街路樹には、沿道の景観に彩りや季節感をもたらすこと、日差しの低減、ヘッドライトによる歩行者のまぶしさの低減、火災時の延焼防止といった様々な特長があります。今後も、通行の妨げや見通しが悪いといった支障が出ないように、適切な維持管理に努めてまいります。

1 4 私たちの自治会が抱える問題点のワースト順位である。

- 1 自治会長の選出について（担う人がいない。）⇒有志メンバーで決定する。
- 2 自治会館の老朽化が進み問題。全体会議⇒有志メンバーで決める。
- 3 自治会脱会の件⇒早めに現状を把握し全体会議ですすめる。
- 4 不法駐車解消⇒その都度対応する。
- 5 不用物の投棄について⇒その都度対応する。

なお、今回の調査を通じて、いろいろと勉強をさせていただきました。ありがとうございます。今後も更なる住みよい町づくりに支援させていただきます。

回答：総務課

自治会が抱える問題点及び、その問題点に対する対応方法についてご意見、ご提案をいただき、本当にありがとうございます。

町でも、少子・高齢化、さらには単身世帯の増加など、社会構造の変化、ライフスタイルの多様化、そして地域に対する関心の希薄化などにより、自治会を取り巻く環境は大きく変化していると認識しています。

今後については、ご意見、ご提案いただいたものを参考にしながら、地域コミュニティの醸成や自治会の加入促進に向けた取組みに努めてまいりたいと思います。

1 5 町道1号線の破損等の修理を、自治会を通してまちづくり整備課に上げて、1年以上たっています。早くなおして！！

回答：まちづくり整備課

大変御迷惑をおかけいたしました。庄和浄水場近くのインターロッキングブロック部分や縁石等につきましては、補修工事を発注いたしました。

1 6 1、役場職員は、町民にこんにちわと自分から言えない。（いわゆる上から目線）

1、パット見た時、役場内は密であり、コロナ注意

1、月に何回か町内パトロールを実施して違和感ヶ所、不具合ヶ所（点）を改善して欲しい。現況・現物を見る。対策すぐやる。

回答：総務課

町では目標とする職員像を「住民の立場で行動し、目標に向かってチャレンジする明るい職員」と掲げ、窓口対応や日々の業務に取り組んでいます。今後も、住民の方やお客様に不可な思いをさせない対応を心掛け、接遇の向上に努めてまいります。

また、役場内における新型コロナウイルス感染症対策としては、パーティションの設置、定期的な窓開けによる換気の徹底や手指消毒などを実施しております。さらに、本庁舎及び第二庁舎のトイレを非接触化し、新型コロナウイルス感染症対策に努めています。

町内パトロールにつきましては、シルバー人材センターに業務委託し、町道などにおける危険箇所の確認、違法看板の撤去及び不法投棄における回収等を実施しております。

1 7 主な大きな道路の両わきの木や植え込みは、時期的に伐採されていますが、一本中に入った道路の植え込みなどは、なかなか切ってもらえません！電線にも木の枝がかぶさり危険です。二中に行く道路（ゆめみ野3丁目付近）ですが、運送会社の大型トラックも敷地ギリギリに駐車しており、ミラーもなく車の死角になっています。道路のいたみ、穴ポコなどの修理。大きな車が通ると家がゆれます。等々お願いします。

回答：まちづくり整備課、環境経済課

街路樹の維持管理は、路線や樹木ごとに剪定の頻度を定めて業者委託するほか、緊急の場合は随時の業者委託や職員が剪定や伐採をしております。危険なものには対応いたしますので、ご連絡願います。

なお、民有地から道路にはみ出している樹木は、町が伐採することはできませんので、所有者に維持管理をお願いするなどの対応をしております。

道路の維持管理は、職員や業者委託による簡易な修繕を随時行っているほか、舗装の劣化状況により、路線ごとの改修を計画的に行っております。路肩の崩れや路面の穴といった危険なものには随時対応いたしますので、ご連絡願います。

1 8 松伏町の自然をそのまま残してほしい。自然を生かした住みやすい町づくり。現在はそれに近いと思います。

回答：企画財政課

町では平成26年度から10年間の計画である「松伏町第5次総合振興計画」に基づき、町の将来像を「笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち！」と定め、実現に向けて各施策に取り組んでいるところです。

今後につきましても、長期的な視野に立ち、自然環境と調和のとれたまちづくりを推進してまいります。

## 1. かがり火公園の活用

かがり火公園が整備されたので、かがり火をたく用具を数機設置してはどうでしょうか？

## 2. 町有地の有効活用としては

金杉・T氏側に、旧古川河川敷（通称8反8畝）の町有地があります。型がグローブのように使用しにくい形であり、そのままになっておるとお思います。これを中川が近いので、中川でボート等を行い、その搬倉庫等で活用してはどうか？事業費はBG財団の補助等を活用することで、町の出費は少なくて済むのではないのでしょうか？

## 3. 広報まつぶしについて

最近の広報の表紙の表示がローマ字で MATSUBUSHI となっており、私は日本人として大変残念でなりません。松伏町は日本の1自治体である。又、内容も横文字の表示が多く、中には理解できない表示もあります。たしかに最近、外国人の人も多く見受けるようになり、その人達にもやさしい表示をする事も分かりますが、人口の半数が外国の人が占めるようになってからでも遅くはないのではないのでしょうか？

## 4. 町の各種事業の進捗状況の報告を

町で行っておる工事等（例・中間処理場、防災倉庫、町道3号線等）施行中であることは分かりますが、どの程度進捗しておるのか広報に写真等を掲載して、完成するまで何回か報告していただくと住民も良く分かるのではないのでしょうか？

**回答：総務課、新市街地整備課、教育文化振興課**

（新市街地整備課）

1 かがり火公園の活用については、大落古利根川遊歩道の維持管理を行う大川戸地区・松伏第五地区大落古利根川遊歩道保存会の方々によって「かがり火の夕べ」が毎年開催されており、その際にかがり火をたいています。

※令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（教育文化振興課）

2 有効活用を提案されている町有地は、中川沿いにある土地（現況：農地、地目：雑種地）のこととと思われます。

ご提案されているように、中川で使用するボートを保管する艇庫等を建設するなど、土地の有効活用をする場合には、現在の土地利用の状況や所有権の問題など、様々な課題を解決していく必要があると考えております。

現在のところ、土地の有効活用に関する具体的な計画はございませんが、町の課題として認識しておりますので、今後、どのような活用方法が有効か調査・研究してまいります。

（総務課）

3 広報まつぶしにつきましては、「見る 読む つながる」をテーマとして、手に取って、読んでもらい、町と町民がつながることを第一の目的として毎月制作しております。

そのような観点から、単なる文字を羅列するのではなく、読みたくなるような文字の配置、カラーページへの写真の多用、一人でも多くの町民を掲載することなど、工夫をしているところです。

まずは手に取ってもらえるよう、スタイリッシュな雑誌を参考にしており、題名をアルファベットにしましたが、「広報まつぶし」という日本語の表記も入れておりますことから、ご理解・ご協力をお願いいたします。

（総務課）

4 町事業の中でも町民の皆様の関心が高い比較的大きな事業については、広報まつぶしの中でご紹介しております。すべての事業についての進捗状況を広報まつぶしの中でご紹介するには、他のお知らせしたい事項もございますことから、難しいものと考えますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・ 本町政アンケートは、町政に対する意見を聞く重要な機会だと思いますが、未だに紙面配布、手書き回答の状態なのでしょうか。確認できなかつただけで SNS やツイッターといったツールでも回答可能だったのででしょうか。回答者に高齢の方等がいることを考慮したとしても昨今のデジタル化を鑑みた改善が図られるべきだと思います。集計する職員の方も大変でしょうし、日常業務の見直しを行うことも重要です。
- ・ 道の駅のご提案は反対意見も多数だとは思いますが、非常に良い提案だと思います。町の魅力を発信するにしても拠点となる施設がないとどうしようもなりません。（この点、エローラや B&G は使用目的が特化しており相応しいとは言えません。）河川に囲まれた町であり交通インフラの整備等も含め解決しなくてはならない問題は多数あると思いますが、ぜひとも推進していただきたいを思います。松伏総合公園等のロケーションを利用して今流行りの「車中泊できる道の駅」といった検討もしていただきたいと思います。なお、道の駅を作るのであれば、さきほどの車中泊への有無に関わらず、交番もぜひ近隣に増設していただくよう吉川警察と交渉していただきたいと思います。
- ・ 内前野交差点の西側道路が開通し、他にも多くの道路の工事が計画されており、長期的、中期的な視野に立った整備計画に非常に感謝しています。
- ・ 子育て世帯への臨時特別給付金で、18歳以下の子どもがいる世帯のうち所得制限で対象外となる世帯は何世帯で全体の何%なのでしょうか。その世帯は町民税の何%を納付しているのでしょうか。そういう世帯に町独自の給付を行うことは議論されたのでしょうか。このような対象外となる世帯は高校授業料の無償化といったサービスも受けられず、一方的に負担する側に回されています。

回答：総務課、すこやか子育て課、新市街地整備課、まちづくり整備課

（総務課）

現在、モニター員の状況を踏まえての回答方法とさせていただいております。今後、電子媒体での回答も検討してまいりたいと考えます。

（新市街地整備課）

道の駅の整備につきましては、現在は整備手法や管理方法等を調査・研究しているところです。また、整備にあたっては、官民連携など先進地の成功事例などを参考に整備手法や管理運営方法を精査し、やわらかな発想をもって地域の賑わいや生活を楽しむ場所を創出するとともに、町民生活の利便性向上、産業、商業の振興等を図ってまいります。

（総務課）

道の駅近隣における交番の設置については、道の駅が設置された後の地域の犯罪発生状況や交通事故発生件数などの治安情勢や近隣警察施設の設置状況等を総合的に勘案し検討することになりますので、吉川警察署との連携を図りながら調整していくものと考えております。

（まちづくり整備課）

八枚橋から西に進んで県道春日部松伏線までの区間（町道3号線）の拡幅と歩道整備工事を行っております。完成後は金杉小学校へ通学する児童などの安全性が向上いたします。工事中は御不便をおかけしますが、御協力をお願いいたします。

（すこやか子育て課）

コロナ克服・新時代開拓のための経済対策（令和3年11月19日閣議決定）に基づき、児童を養育している者の所得が児童手当の特例給付相当の世帯を除き、0歳から高校3年生までの児童1人当たり10万円の給付を行いました。

所得制限で対象外になった世帯の割合は、全体の1.92%です。

対象外になった世帯に対しては、子育て世帯への臨時特別給付金が国の経済対策に基づき実施したものであるため、町独自の給付は行わないこととしました。



2 1 松伏町のPRの強化に力を入れるべきだと思う。

回答：総務課

町では、平成29年12月に、松伏町シティプロモーション戦略を策定して、町のPRに務めているところです。現在、マップメール、ツイッター、インスタグラム、松伏町公式動画チャンネルによる配信を行い、フォロワー数やチャンネル登録者数が少しずつ伸びてきているところです。

今後も、各媒体を適切に活用し、フォロワー数等を伸ばし、松伏町の認知度の向上に努めてまいりたいと考えます。

2 2 子供の医療で町外の小児科にかかった際、一度医療費を支払った後に町役場にて請求は、コロナ禍の為、考えた方がいいかと思いました。

回答：すこやか子育て課

令和4年10月より埼玉県内において、こども医療費の現物給付化が実施される予定です。現物給付化実施後は、埼玉県内であれば町外の医療機関でも受給資格証を提示していただくことで、無料で受診できるようになるため、役場窓口で医療費の請求を行う機会は徐々に減少すると考えております。

2 3 まわりの市民から注目を集められるような町、何か目玉になるような名所を持つ町になって欲しい。

回答：企画財政課

町では平成26年度から10年間の計画である「松伏町第5次総合振興計画」に基づき、町の将来像を「笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち！」と定め、実現に向けて各施策に取り組んでいるところです。

第5次総合振興計画では2つの重点戦略として、人口増を目指す戦略、定住化を進める戦略を掲げ、事業を実施しております。

また、令和2年度を始期とする第2期の松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、基本理念に「まちの魅力発信と町民満足度の向上」を掲げて人口減少対策に取り組んでおります。今後もこれらの事業を推進することにより、町の魅力を高め、多くの方々からも注目されるような町を目指します。

2 4 カレーのまちづくりに対して費用対効果の説明がほしい。具体的な数字で示せないなら必要ないと思う。

回答：環境経済課

カレーのまちづくりについては、令和元年度から「松伏ふるさとカレー」スタンプラリーを実施し、町内外から多くの方の参加をいただいているところです。

この事業は、町と町商工会との共催事業であり、費用負担も分担しながら実施しております。

令和3年度の町と商工会で負担できる予算額は、約105万円でした。その予算をもとに実施したスタンプラリーには、町内123名、町外147名、計270名からの応募があり、その応募状況から店舗の売上額を算定すると約125万円を越す金額となりました。

このような直接的な売上げのほか、テレビやラジオ等各種メディアで取り上げられることによる参加店舗への集客や事業の認知度向上も見込まれることから、町の経済活動や認知度の向上に、多くの効果があると考えております。